

《女性研究者等研究支援成果報告 概要・要旨》

<課題名>

日本企業の実態から学ぶケーススタディー：日本人大学生のグローバルビジネス及びマネジメントコミュニケーションスキルアップ

<代表者所属・職名・氏名>

国際基幹教育院外国語教育系 特任准教授 ダガン さがの

<研究成果要旨>

本研究において、経営者（建設業、解体業、旅館飲食業、販売業）4名と従業者（医師、会社員、ソーシャルワーカー、銀行員）4名にインタビューを行った。インタビューは日本語で行い、実際にあったコミュニケーションの相違から生じる問題点や効果点を話してもらった。それらの事例から16の英語でのケーススタディーを作成し、5W1H, 5 Why, PEST, SWOT, 4Cのビジネスフレームワーク分析を行うことでその会社・企業などがどのような影響を受けるか、メリットやデメリット何か、その企業にとって最も有意義なコミュニケーション法とは何か等、多種多様な分析問題を作り、教材作成とし2020年（予定）に著書出版される。

これらの教材から、大学生が現実的に起こっているビジネスコミュニケーション及びマネジメントコミュニケーションのケーススタディーを学ぶことにより、同じ状況においても人や組織により対応する解決法が全く違う事が理解できる。そのため一つのケーススタディーで色々なシミュレーションを体験することができ一般論としてビジネスコミュニケーション力を身につけていくことができる。さらに今後起こりうるリスクを理解し多様なリスクを回避できるようになる「リスク回避スキル」だけではなく新しいアイデアを考える「イノベーティブ能力」が向上できるようになるビジネス英語教材となっている。